

「とっかフューチャーセッション」のご案内

こまちぷらす
co-machi

実施内容

NPO法人こまちぷらすでは、地域課題を考えアクションを起こしていく主体市民を増やしていく取り組みの一環で「とっかフューチャーセッション」を年3回開催しています。(2016年～)
テーマは回毎に「子育て」「障がい」「介護」という当事者性のある3大テーマをベースに、当事者、支援者、企業、行政、地域といった異なる立場の人が30人～50人程度参加しています。ミニ講演会と、当事者の声を可視化したツールを使用したワークショップを通し、立場を超えて共に考える対話の場となっております。

ポイント①

～パブリックコメントの活用～

横浜市の施策によせられたパブリックコメントとアンケートから抽出した「当事者の声」をもとにワークを行います。

「その声に対して自分が取り組めることは何か」を、多様なセクターとネットワークを築きながら共に考えます。

ポイント②

～カフェの来店者から主体的な参加者に～

こまちカフェという日常の入口から関わった方が様々な機会を通してフューチャーセッションに参加し、視野の広がる場になっています。



カフェに来店
イベントに参加

おしゃべり会や
パートナー登録を
通し、自己肯定・
仲間を得る。



異なる立場の方
との視野の共有

ポイント③

～多様な立場の方の交わり～

当事者・支援者・企業・行政・地域といった様々な立場の方が交わるよう、お申し込みの段階から当日の席順まで人数や組み合わせを設計しております。

ポイント④

～他人事から我が事へ～

「子育て」「障がい」「介護」という当事者性の高いテーマでの実施を繰り返して行うことにより、それぞれが自身の関心事から入り、そこから次のテーマの回にも参加して下さっています。「子育て中のお母さんが介護について考える」「介護関係の支援者が障がいのある人の声を見て自分に何ができるかを考える」といった循環と効果が生まれています。

これまで参加された方々の声

- ・子育て中の母親
- ・子育て支援拠点等の支援関係者
- ・企業
- ・中間支援組織
- ・就労移行支援事業所スタッフ
- ・若年性認知症カフェ運営者
- ・介護事業所職員
- ・介護当事者
- ・障がい当事者・家族
- ・行政職員

など、これまで全5回で
延べ約180名の参加。

➡「気づき」と「アクション」のデータを保有

「この場でないと出会えなかったであろう方と出会い、
自分の思いや相手の思いを聞いた。」

「フューチャーセッションは多様性を受け止め、認識し、向き合いながらも
“志”方向に一緒になって歩むための関係性を構築できる場。」

「私自身は障がい児の母親ですが、そうでない人たちもこんなに
障がいについてや地域の居場所について社会を良くしていきたいと
考えていることがわかり、幸せな気持ちになった」

「子育て・介護・世代交流、人と人をつなぐことが求められていると実感。」

「自分の、いち主婦(?)の声が企業・行政にとどくかと思うと
ドキドキしていたが、聞いてもらえて誰かの気づきになることが
とても嬉しかった。」

セッションの様子



ミニ講演



「声」を選ぶ



選んだ思いをペアで
共有



気づきを記入



気づきをグループ
で共有



全体で共有

誰かの
声

対話

自分の
アクション

ご参加・お問い合わせ・ワークショップ開催のご希望等は下記まで

こまちぶらすHP

